

# 「第33回光物性研究会(2022)」のご案内

## First Call for Papers

**開催日** : 2022年12月9日(金)、10日(土)  
**開催場所** : 大阪大学会館(大阪大学豊中キャンパス)  
**論文投稿締切日**: 2022年10月28日(金) (pdfファイル投稿)  
**参加登録締切日**: 2022年11月30日(水)  
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)

### 研究会の概要:

本研究会は1990年より始まり、今年で33回目を迎えます。その特徴として、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演とし、一般発表は特にテーマを設定せず、広義の光物性分野の諸課題を中心に議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのために、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

### 2022年度は対面開催:

コロナ禍が完全には終息していませんが、十分な感染対策を行うことで、3年ぶりに対面開催と致します。活発な情報交換、親交を深める場となれば幸いです。是非、奮ってお申し込み下さい。

**テーマ**: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス・量子情報・太陽光発電等材料への応用、フォトニック結晶、プラズモニクス、メタマテリアル、光マニピュレーション、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

**チュートリアル講義と特別講演**: 大学院生、若手研究者を主対象に、**金有洙**先生(理化学研究所)による「走査トンネル顕微鏡が拓く近接場単分子分光」と題したチュートリアル講義(90分)と**岡隆史**先生(東京大学)による「フロッケ理論に基づくトポロジカル非線形光学効果」に関する特別講演(60分)があります。

**光物性研究会奨励賞**: 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待して表彰を行います(受賞件数は発表総数の5%程度:概ね4~5件)。本賞の受賞対象者は、事前に申し込む必要があります(詳細はweb上で案内しています)。

**論文集**: 論文集を発行し、参加者全員にデジタル版を配布します。論文は各発表4頁です。**論文の提出が発表の条件になります。**論文はwebにおいてpublic domainに公開します。投稿の際に公開の可否をご指定下さい。

**論文投稿締切日**: 2022年10月28日(金): pdf投稿、**キーワードの指定が必要**

**参加費**: 11月30日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000円、学生 3000円

11月30日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000円、学生 4000円

**参加費の振り込みについては、webに記載している振込口座にお願いします。**

**研究会の情報**: <https://hikari-bussei-kenkyukai.jp/>

**全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)はwebで行います。**

**研究会問い合わせ先**: 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 芦田昌明 (組織委員長)

e-mail: [ashida@mp.es.osaka-u.ac.jp](mailto:ashida@mp.es.osaka-u.ac.jp) tel: 06-6850-6506

**組織委員**: 岩井伸一郎(東北大・理)、枝松圭一(東北大・通研)、早水裕平(東工大・物質理工)、武田 淳(横浜国大・工)、田中耕一郎(京大・理)、中 暢子(京大・理)、松田一成(京大・エネ科)、浅野建一(阪大・理)、芦田昌明(組織委員長:阪大・基礎工)、石原 一(阪大・基礎工)、金 大貴(阪公大・工)、内藤裕義(阪公大・工)、溝口幸司(阪公大・理)、伊東千尋(和大・工)、秋元郁子(和大・工)、喜多 隆(神大・工)、河本敏郎(神大・理)、赤井一郎(熊大・産業ナノマテリアル研)

**実行委員**: 芦田昌明(阪大・基礎工)、秋元郁子(和大・工)、赤井一郎(熊大・産業ナノマテリアル研)、岩井伸一郎(東北大・理)、浅野建一(阪大・理)、渡邊 浩(阪大・生命)、横山知大(阪大・基礎工)、蓑輪陽介(阪大・基礎工)